



第 48 号

令和6年3月1日発行
 特定非営利活動法人
 日本健康太極拳協会公認
 楊名時八段錦・太極拳
 鹿児島県支部

いよいよ開催、「九州ブロック鹿児島県支部(30周年記念)大会

ニイハオ。早春の息吹を感じる昨今、会員の皆様には太極拳で健やかな日々をお過ごしのことと存じ上げます。長引いたコロナ禍も終息に向かい、ポストコロナの時代へ展望も開け、自粛ムードのイベントも制限なく開催できることは喜ばしいことです。また、今年は昇龍の年で陽のエネルギーは強く、幸運に導き運氣上昇の縁起の良い年とされていますので、大いに飛躍できたらと願っております。

さて、2023年度を振り返ってみますと、6月の総会は書面決議も取り入れ、32名の参加で無事開催。名称が「楊名時八段錦・太極拳鹿児島県支部」に改名されてから、協会本部より新たな横断幕、のぼり、支部旗、協会の認定証書等の一式を拝受。全支部の名称が統一され、新たなネーミングの下で楊名時太極拳の普及拡大への輪の広がりを期したいと存じます。

10月は楊慧先生をお迎えしての鹿児島県支部研修大会(参加者178名)の開催。ご講演では「太極拳のゆとり」のご講話と中国「不怕慢 只怕站(努力を惜しまず継続することが肝心)の格言をいただきました。大会のお祝い演舞として楊名時太極拳の日「10月10日」に因み「1010」の立位置で百花拳の演舞を楽しみました。閉会后、慧先生の素顔を間近で初対面した方から感動の声もありました。

支部長 松崎 伸男



11月の楊進先生の本部会員研修会(参加者52名)では太極拳の理論と実技を深め、「健康太極拳基本五ヶ条」の平日平視から三尖六合までを再確認。実技では「気沈丹田」の不動の状態を体験し、意識の重要性をみんなにインプットしていただきました。

10月6日は、九州ブロック鹿児島県大会

いよいよ、今年は待ち望んだ九州ブロック鹿児島県大会が開催。6年前の感動を胸に、県支部準備委員会で企画推進中ですが、会員の皆様のご意向も十分把握し、同心協力でイメージと力を結集させ、全員丸の鹿児島県支部の心意気が、深い感動と共に大会開催の良縁の輪として広がることを祈念申し上げます。

結びとして、皆様の健康と幸せを願い、楊名時太極拳を「養生之道」として生涯楽しみたいと存じます。今後共、県支部の活動推進に対しても、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。今年の干支「龍」にちなみ、鹿児島弁で皆で「ひっ飛び」ましよう。

感謝。

健康太極拳随想

太極拳歴五十数年を振り返り

永井 俊徳 七十七歳

大家都好嗎(皆様こんにちは)。

楊名時先生との出会いは、五十数年前の中国語の勉強がきっかけでした。当時中野に住んでいた私は、友人から大東文化大学教授の楊名時先生をご紹介いただき、中国語とあわせて太極拳を勧められました。先生との会話は全て中国語、太極拳は「とにかく見て真似をしない」と見取り稽古。今、振り返ると、深く考え深く学べた懐かしい日々。それが入門試験であったかのように、私の一日の生活、人生の全てに生きてます。ポレポレビルの事務所、大学での大らかなお姿、また、稽古で生徒二人の意見が異なる場合にも勝ち負けをつくらず、何事にも「和を以て貴しと為す」とされるお人柄。甩手や大好きな雲手を舞っている先生のお姿。先生との出会から約半世紀、そのひとつひとつが私の大切な思い出です。「同心協力」、「あいとおく」、「為了明天」、「不怕慢、只怕站」を旨とされ、型にはまらず、全てに寛容で、大切なものを深く追究される先生の生き方に今もなお憧れます。

下次見(またお会いしましょう)



楊慧先生をお迎えして、県支部研修大会

2023年10月8日 於:キャンセビル

「健康、友好、平和」の思いを繋ぐ

西地域 堀 昭一

2023年度の県支部研修大会が10月8日、178名が参加して開かれました。大会は、楊慧先生の講義と実技指導をメインに、師家生誕の10月10日に因んだ百花拳の祝演舞、師範審査が行われました。

「不怕慢 只怕站」、継続は力なり。

ご講演のテーマは『太極拳のゆとり』柔らかく静かに。師家の生い立ちから楊名時太極拳の理念を紐解く貴重なご講演でありました。師家は、1924年に中国山西省にお生まれになり、1931年の満州事変の勃発が平和の尊さを深く考えるキッカケとなったこと。1943年、政治を学び国の平和と日中友好に尽くしたいとの思いを胸に、名前を「時に名を残す」「名時」と改名し官費留学生として来日。その後、師家の平和への思いは、人々の「健康・友好・平和」へと発展的に深く掘り下げられ、今日へと繋がっていること。また、当初は、師家の健康太極拳が理解されるまでには時間を要し、武術と異なることへの批判にも和を以て地道な努力を続けられた師家のお話をお伺いしました。

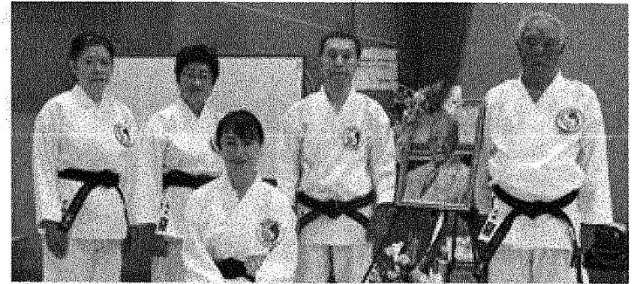
ご講演の結びに「不怕慢 只怕站」という言葉を挙げられ、ゆっくりは怖くない。但し、立ち止まってはいけない。継続は力なり。師家が皆さんと共に繋ぎ続けていって下さったことに感謝申し上げますと締めくくられました。

実技指導は、10 雲手、11 単鞭、12 高探馬。

参加者の真ん中で目線を合わせた丁寧なご指導に、参加者の皆さんも感激しつつ真剣な眼差し。先生の教を深く共有できたと思います。



参加者 178 名に温かく語り掛けるようにご講演



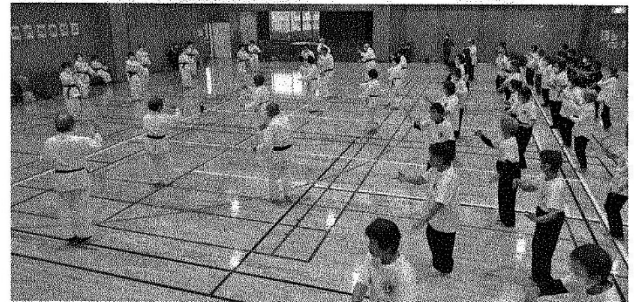
師範審査を終えて楊慧先生と記念写真
後列右から北野師範・徳田師範・向原師範・前原師範

初心あらたに、生涯の友として…

また、今大会では4名の新師範が誕生致しました。

楊慧先生より「楊名時太極拳独特のゆとりと間がありました。深い呼吸の中での演舞でした。師範取得を新たな初心として、生涯の友として末永く続けて下さい」と、これまでの修練を称える激励のご講評を賜りました。

4名の新師範の皆様、おめでとうございます。



1010の人文字を作って全員でのお祝い演舞

師家の思いと共に、百花拳の祝い演舞

大会の結びは、1010百花拳のお祝い演舞。95歳の海江田順三郎名誉顧問をはじめとする大先輩方の壮健な演舞にも大いに啓発されました。楊慧先生の開会のお言葉どおり、心は軽く、呼吸はゆっくりと深く、体は伸びやかに…、清々しい和やかな気の中で、楽しい呼吸が楽しめた大会、そして、楊慧先生のご講演から、師家の思いと目指すところを改めて深く感じることができた貴重な大会となりました。

「1010」百花拳祝い演舞華やかに

南地域 山脇 せい子

かごしま国体の熱気の溢れる令和5年10月8日、楊慧先生をお迎えして県支部研修大会を開催。ご講演で名時先生の生い立ちから楊名時八段錦・太極拳を確立された経緯のお話を賜り、改めて名時先生のご尽力と偉大さを感じ「健康・友好・平和」の理念への理解を深め、参加者の皆様と名時先生のご生誕を百花拳の演舞で祝いました。「不怕慢、只怕站」、立ち止らず、ゆっくり、コツコツとやり抜くこと。「継続は力なり」。末永く心身共に学んでいきたいと思ひます。



壮大な演舞で、和やかな気を共有。

北地域 堀川 正

10月8日、県支部研修大会が開催されました。プログラムの結びは10月10日「楊名時太極拳の日」師家ご生誕を祝う百花拳のお祝い演舞。二重の楕円を二つ、その間に四列の直線を二つ作り、1010の人文字で楕円は百花拳、直線は24式後半を参加者178名で演舞。爽やかな気が満ちた壮大な演舞になったと思ひます。百花拳の祝い演舞は、師家と理念への思いを深める幸せの演舞。次回は今回以上に「健康・友好・平和」の和やかで円やかな気を皆で共有しましょう。